

# 日本パペットセラピー学会(JPTA)からのお知らせ

\* 主な記事：第15回大会を振り返って、大会に参加して、第16回大会のご案内など

2021 No.2  
2022年1月14日 JPTA事務局 〒158-0083 東京都世田谷区奥沢8-10-7  
メールアドレス info@j-pta.net FAX 03-3702-3097

学会第15回大会は、オンラインとオンデマンド配信での開催となりました。そのため、開催地での参加は今まで難しい会員、非会員の皆様方にもご参加いただき、大盛況に終了いたしました。編集長：中下富子

## 日本パペットセラピー学会第15回大会を振り返って

テーマ：「パペット、手に取ってみようよ！」

日時：2021年11月14日(日)及び21日(日)

(ZOOMによるオンライン開催)

大会長：出山 雅章

(小学校教諭 公認心理師 認定パペットセラピスト)

副大会長：岡 信行

(ソックスパペット工房・バンブリーナ主宰 認定パペットセラピスト)



今年度の日本パペットセラピー学会大会は、なんとか会場に一同が会  
する大会にしたいと考え、できるだけ遅い時期に期日を設定しました。

しかし、残念ながら新型コロナウイルスの蔓延は収まらず、前回大会に続きリモート開催となりました。

できるだけ腹話術の初心者や、パペットに慣れていない人にも参加してもらって、そういう人たちにパペットセラピーを知ってもらい、同時に会員のみなさんには「パペットセラピーってなんなんだろう」と初心に戻って考えてもらえるような大会にしたいと考え、このテーマを掲げました。プログラムも、どちらかというと学術的な難しいものよりも誰にでもわかりやすく親しみやすいものを中心にしました。そういう意味では、やや「学会」らしくない大会になったかもしれません。大会当日は会員以外の参加者があまり多くなく、ちょっと残念でした。それでもリラックスした中で参加者それぞれがなにかを考え、感じてもらえるような大会になったのではないかと思います。理事、それに会員の皆様のご協力のおかげと感謝しています。

城谷護先生の教育講演は、豊富なボランティア経験談の中からパペットの社会貢献や、パペットによるいろいろな人とのふれ合いの素晴らしさを語っていただき、素晴らしい講演だったと思います。腹話術も披露していただき大変楽しませていただきました。今回の大会にふさわしい講演だったと思います。



岡先生が工夫を凝らして計画してくださったパペットレッスンの後のレッスン&コミュニケーションタイム、初めての試みでしたが、いかがだったでしょうか。技術の向上とともに、他の人の腹話術の技を楽しんだりパペットセラピーについての情報交換ができる時間になったのではないかと思います。

午後の研究発表、それにパペットセラピー実演発表では、様々な分野でのパペット活用の可能性をみんなで考えることができたと思います。研究発表ではそれぞれ興味深い実践や研究でしたが時間の都合で質問や意見の時間がなくなってしまったのがとても残念でした。発表にあった保育と障害児教育の分野は、個人的にはパペットセラピーの活用が今後大いに研究されていく分野だと思っています。実演発表ではみなさんから様々な意見が出て、パペットセラピーのあり方と可能性について、それぞれの思いやこだわりを発表し合うような充実した時間になったと感じています。

今回の大会の企画、準備を通じて、私自身は「パペットセラピーってなんだろう」ということをずっと考え続けていたように思います。その思いを大会長講演の中でお話しさせていただきました。「パペットセラピーの大きな力と可能性」をどう形にしていくのか、日本パペットセラピー学会のみなさんとともに考えていきたいと思いました。皆様のご参加、ご協力を改めて感謝いたします。

## 第 15 回大会を振り返って

理事長 原 美智子

大会が無事終了し安堵しております。ご参加のみなさま、実行委員の理事のみなさまに厚く御礼申し上げます。

昨年に続き今年度大会も新型コロナウイルス感染拡大防止のために、2日にわたるZOOM開催となりました。ご協力ありがとうございました。大会参加者は非会員の方8人を含めて53人でした。そのうち当日のZOOMでのご参加は32人でした。

2日間ともに、大会のテーマである「パペット 手に取ってみようよ!」のもとに出山雅章大会長のお考えの詰まった素晴らしい大会でした。出山理事は2011年入会以来、毎年大会に参加され、その年の企画内容を詳細に分析されてこられました。その効果が反映された、充実した大会内容となったと思います。

大会長講演では、学会15年の歴史と、研究活動を振り返ることができ、また今後の学会の発展に向けて希望に満ちた方向性を示していただきました。演者のみなさまのすばらしいご発表内容は今年度の機関誌に掲載されます。拝読できるのを楽しみにしております。



## 日本パペットセラピー学会第16回大会のご案内

テーマ：「コロナ禍における子どもへのパペットセラピーの可能性を考える」（仮題）

日時：2022年10月30日（日）予定

（ZOOMによるオンライン開催）

大会長：中下 富子

（群馬パース大学看護学部教授・副理事長・パペットセラピスト）

副大会長：根岸 衣美子

（大正大学非常勤講師）

## 第15回大会に参加して ～会員の皆様より～

鯉淵 千鶴子 様

昨年に引き続きオンラインで開催された第15回大会に参加いたしました。地方に住んでいるので、オンラインでなかったら大会に参加することは出来ませんでした。コロナが収まってからも大会開催地に行けない人向けの参加方法を考慮いただけると嬉しいなと思っております。

まず、1日目は、城谷護先生の教育講演でしたが、これが圧巻でした。すべてが体験から語られているので説得力があります。人形が起こす奇跡のような出来事の数々を聞いていて、私にもそんな経験が出来るようになるだろうか、なりたいなあと思いました。また、見ている人が皆、大笑いしているのがとても羨ましかったです。なぜなら、私の腹話術はなかなか笑ってもらえないのです。観客は、笑うのではなくじっと聞き入ってしまうのです。城谷先生のようにみんながおなかを抱えて笑い転げる腹話術ができるようになりたいと思いました。

また、現実問題として、被災地に入るときの根回しや、じっとしていないで動くこと、宣伝、仲間づくりなど具体的なことも話していただきました。何かしたいと思ったら、自ら動くことが大切だと感じました。こういうノウハウは、実体験を積んだ方にしかわからないことです。それを隠すことなく教えてくださったことに感謝します。

2日目は、大会長講演に続いての岡先生のパペットレッスンがわかり易くて良かったです。①子供たちの遊び心を引き出す②子供たちのノリの雰囲気を利用する③羞恥心を捨てて思い切って演ずる。この3つがあれば多少腹話術がうまくできなくても大丈夫と笑顔で言っていただけるとなんだか自信がもてます。今回の岡先生の「腹話術の簡単な練習方法」は基本的な事だと思いますので、学会のHPに動画を掲載しておく初心者への参考になるのではと思いました。

その後のコミュニケーションタイムでは、初めましての方々とのやり取りが楽しく、時間が短く感じました。

研究発表は、最初は安藤先生でした。いつも穏やかに人と会話されている安藤先生が、保育士時代に、ある子供とコミュニケーションがとれずに悩める日が続いたことがあるなど想像もできませんでした。キョロちゃんというパペットが安藤先生と子供との緊張感を解いたこと、またそのキョロちゃんを実演して見せてくださったこと、とても参考になりました。今後の自分の演技にも取り入れたいと思いました。

次の東海林先生は、パペットを使った保育導入で、実際に保育の現場でどのようにパペットを介在すると効果が上がるのか具体的に話されました。「始まりがあって終わりがある」「どのように保育にパペットを介在させるか」など、現場の人が一番悩むことと思われることを、実際にパペットを使って演じて見せてくれました。やはり実際の演技が入ると、とても印象的でわかりやすいと思いました。

教育講演も研究発表も交流会も、大会テーマ「パペット手に取ってみようよ！」を受けて、有意義で楽しいものだったと感じました。



尚絅学院大学 山崎 裕 様

予てより私は、子どもたちが昆虫など小動物や草花を間近に見つめる表情と、ぬいぐるみや人形を抱きかかえる様子に、共通性が存在すると感じておりました。それは、最弱者である子どもたちが、彼らよりさらに弱いものを庇護する慈愛の表情であり、優しさと満足感に溢れていました。たとえ幼児であっても、愛情は享受するだけではなく、付与する行為も必要であると再認識させてくれました。

そのような中、素人として、大会に参加させていただきました。巧みに操られる人形は、先生方の分身であると同時に、対象者（子どもたち）と対峙せず、共通して愛情を注ぎ込むことができる第3の人格たり得ることがよくわかりました。そして今、私は先史時代に起源を発する、人形の壮大な歴史に思いを馳せています。

## 日本パペットセラピー学会地域活動助成金申請について

本学会の目的達成のための各地域における各種活動に助成金を支給しております。各種活動とは、パペットセラピーに関する研究会、講習会、講演会、その他理事長が適当と認めた活動で、営利を目的としないものとしています。

助成金は、団体または個人単位で申請するものとしており、1年度に1万円としています。

助成金を申請する場合には、「日本パペットセラピー学会地域活動助成金交付申請書」及び「日本パペットセラピー学会地域活動報告書」の提出、さらに学会誌への記事とすることが求められます。



支援金は、書類が受理されれば、2週間以内に指定口座に振り込まれます。会員の皆様、奮って地域活動の発展のために、この助成金をご活用ください。詳細は、[学会ホームページ](#)をご覧ください!!!

## オンラインによる地域活動のご案内

### パペットセラピー研修会開催(日本パペットセラピー学会:協賛)

開催日: 2022年3月12日(土) 13:00~15:30 <オンライン開催です。>

参加者: 会員及び非会員どなたでもご参加ください。初心者の方も大歓迎です。ご参加をお待ちしています。

内容: まずパペットセラピーの考え方とその実演をご覧ください。

その後、パペットを動かす技術を参加者の皆さんとともに学べます。

会費: 会員、非会員も無料です。参加希望の方は、[nakashita@paz.ac.jp](mailto:nakashita@paz.ac.jp) までご連絡ください。

※ 学会ホームページも併せてご覧ください。

## 事務局だより

昨年に引き続き ZOOM 開催となった今年度の大会並びに総会は、無事終了することができました。ご協力ありがとうございました。大会の録画配信のご案内を大会参加者にメールでお送りしました。ご覧になれましたでしょうか? アンケートもお寄せください。また大会参加証明書(お名前は自署願います)をお送りしました。パペットセラピスト申請・更新用などにも保存してください。

ZOOM による講習会を 2022 年 3 月上旬に予定しております。ホームページのお知らせ欄をご確認ください。また、皆様からも新しい企画などご提案をいただければと思います。

ご住所、メールアドレスに変更があった場合には、お手数ですが事務局にお知らせください。通信業務にご協力お願いいたします。

新型コロナウイルスは、新しい変異株の出現もあり、まだまだおさまる気配がありません。感染予防怠りなくご無事でお過ごしください。

